

最高裁判決を踏まえた生活保護費の追加給付等業務に係る労働者派遣業務に関する  
企画提案競技(公募型プロポーザル) 審査基準

表1 評価基準及び得点化係数

評価区分	評価基準	得点化係数
A	非常に優れた提案内容であり、最も高く評価できる	1.00
B	優れた提案内容であり、高く評価できる	0.80
C	一般的な提案内容であり、評価できる	0.60
D	提案内容が乏しく、評価が劣る	0.40
E	提案内容が非常に乏しく、評価が極めて劣る	0.20
F	評価できるような提案内容がない	0.00

表2 審査項目及び配点等

審査項目	評価の視点	配点
1 派遣労働者の安定確保及び質の確保に対する対応		
代替派遣の体制	急な休暇や欠勤が発生した際、業務を滞らせないための迅速な代替要員補充体制が確立されているか。	10
雇用管理とサポート体制	派遣労働者の離職(頻繁な交替や突発退職)を防止するため、適切なフォローアップ体制が構築され安定的な勤務を担保できるか。	5
研修制度	派遣前研修が当該業務の質向上に貢献するか。	5
その他の対応	派遣労働者の安定確保及び質の確保に関するその他の対応や取組が評価できるか。	5
2 個人情報保護および秘密保持に関する対応		
取組及び対策の明確性	個人情報および業務上知り得た秘密の漏えい防止に関する取組が明確で、当該業務における個人情報保護および秘密保持対策が具体的かつ実効的か。	10
3 派遣労働者の配置計画及び業務従事体制		
業務従事体制	令和8年7月中旬のコールセンター先行開始から8月の窓口・事務全般の開始、令和9年3月の終了まで、想定世帯数(約6,500世帯)に対し、業務の特性や申出推移を想定したうえで、「いつ、どの工程(コールセンター・窓口・審査等)に、なぜその人数が必要か」等、一貫性や合理性のある月別人員配置計画であるか。	10
役割分担と連携	コールセンター、受付、事務審査、補助業務の各役割分担が明確であり、円滑に業務を実施することが可能な従事体制が提案されており、その目的やメリット(効率性・正確性等)が示されているか。	15
情報の周知徹底	本市からの指示事項やFAQの更新等、全派遣労働者が迅速かつ的確に共有・理解できる仕組みがあるか。	10
4 リスク管理		
報告・対応フロー・即応体制	事務処理誤りや遅延が発生した際、本市への報告および是正措置が迅速かつ適切に行われる手順が明確で、業務の正確性や安定性を確保するための具体的な工夫が提案されているか。	10
5 その他の独自提案		
独自性と革新性	本業務の目的の達成に必要な、より効果的なアイデアや独自の提案が明確に示されているか。	10(※)
効率性・正確性の向上	別紙仕様書の内容を超えて、事務処理の効率性や正確性を向上させるための具体的な工夫が提案されているか。	
実現可能性	提案された業務改善や独自提案が、業務期間内に実行可能であり、かつ安定して運用できる計画となっているか。	
6 その他		
価格優位性	提案価格に優位性はあるか。 満点(5点)×(提案価格のうち最低価格÷自社の提案価格)	5
実績の関連性	過去に本業務と類似する内容・規模の受注実績があるか。 (類似業務件数が5件以上:5点、4件:4点、3件:3点、2件:2点、1件:1点、0件:0点)	5
合計		100

(※)3項目を総合的に評価し10点満点とする

【審査方法】

- 表2に示す各審査項目について、評価の視点に基づき、表1に示す評価区分によって評価を行う。
- 得点化に関しては、表1に示す6段階の評価区分に従い、各審査項目の配点に当該得点化係数を乗じて評価点を算出する。(小数点第2位までとし、小数点第3位以下は切り捨てる。)
- 全ての委員の評価点を集計し、合計点数が最も高い参加事業者を優先交渉権者として選定する。合計点数が6割を下回る場合は失格とする。
- 合計点数が同点の場合は、以下の順で審査項目の評価点の合計点数を比較して高い方の参加事業者を優先交渉権者として選定する。

審査項目3⇒審査項目1⇒審査項目4⇒審査項目2⇒審査項目5⇒審査項目6